

1. 科目名(単位数)	音楽芸術I(2単位)	3. 科目番号	SJMP1320
2. 授業担当教員	杉原 由利子		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	本科目では、日本音楽史「近代・現代」における歌曲(童謡や唱歌等)を中心に取り上げます。それぞれの時代を代表する楽曲を歌唱するだけでなく、それらが生まれた時代背景についても学習し、作詞者・作曲者の思いや意図を深く理解しながら、学習者自らの歌唱表現力向上を目指します。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の代表的な歌曲(童謡や唱歌)を歌唱することができるようになる。</li> <li>2. 歌唱力や表現力を高める。</li> <li>3. 歌唱する歌曲が生まれた時代背景や作詞者・作曲者について理解する。</li> </ol>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	適宜課題を提示するので実践・提出すること		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】使用しません。適宜次の授業で使用する造形用の素材の用意を指示することがあります。忘れずに持参するようにしてください。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の代表的な歌曲(童謡や唱歌)を歌唱することができるようになったか。</li> <li>2. 歌唱力や表現力を高められたか。</li> <li>3. 歌唱する歌曲が生まれた時代背景や作詞者・作曲者について理解したか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポート 20%</li> <li>2. 歌唱曲の発表 40%</li> <li>3. 事前・事後学習を含む授業への取り組み姿勢 40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	受講生の状況に応じて授業内容の詳細を調整します。日本語能力の向上も目指しつつ、感性を磨く時間を過ごしましょう。柔軟な対応を行う授業内容ではありますが、他の科目同様、真摯な態度で受講してください。特に授業中の無用なスマートフォンの使用に関して、自らを律する態度を取るように留意してください。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 簡単な音楽理論の解説とリズム活動	事前学習	自身の音楽体験を振り返っておく
		事後学習	音楽理論の復習をする
第2回	簡単な鍵盤楽器を用いた演奏の習熟 楽器の音色の確認	事前学習	鍵盤楽器の音の位置を確認しておく
		事後学習	学修内容を復習する
第3回	世界の楽器を知る① 楽器の描画①	事前学習	世界の楽器に関心を寄せて調べる
		事後学習	学修内容を復習する
第4回	世界の楽器を知る② 楽器の描画②	事前学習	世界の楽器に関心を寄せて調べる
		事後学習	学修内容を復習する
第5回	連想価を知る 音楽と色について①	事前学習	連想価とは何か調べる
		事後学習	学修内容を復習する
第6回	連想価を知る 音楽と色について②	事前学習	前回の学修内容を確認する
		事後学習	学修内容を復習する
第7回	日本の楽器を知る① 楽器の描画①	事前学習	日本の楽器について調べる
		事後学習	学修内容を復習する
第8回	日本の楽器を知る② 楽器の描画②	事前学習	前回の学修内容を確認する
		事後学習	学修内容を復習する
第9回	音楽の名作の鑑賞とイメージ画の作成①	事前学習	西洋音楽の名作に触れる
		事後学習	学修内容を復習する
第10回	音楽の名作の鑑賞とイメージ画の作成②	事前学習	西洋音楽の名作に触れる
		事後学習	学修内容を復習する
第11回	音楽の名作の鑑賞とイメージ画の作成③	事前学習	西洋音楽の名作に触れる
		事後学習	学修内容を復習する
第12回	美術作品の鑑賞と音のイメージの造形①	事前学習	美術の名作に触れる
		事後学習	学修内容を復習する
第13回	美術作品の鑑賞と音のイメージの造形②	事前学習	美術の名作に触れる

		事後学習	学修内容を復習する
第14回	美術作品の鑑賞と音のイメージの造形④	事前学習	美術の名作に触れる
		事後学習	学修内容を復習する
第15回	本授業の総括	事前学習	既習内容を確認しておく
		事後学習	学修内容を復習する